

## 1. 研究課題名

母体救命搬送症例に対する早期母子接触・授乳支援とその母乳育児に対する効果

## 2. 試料・情報

### (1) 利用目的

本研究は、当センターにおいて経験した母体救命搬送症例に対する早期母子接触・授乳支援とその母乳育児に対する効果を明らかにすることにより、今後の周産期診療・管理に役立てることを目的としています。

研究期間は承認日から2025年3月までです。

### (2) 利用項目、提供方法

本研究は、2020年4月から2022年12月の間に、当センターへ母体救命搬送された初産婦52症例を対象に、診療記録を利用して行います。利用する情報は、早期母子接触開始時間、初回乳汁分泌開始時間、退院時・1か月健診時の栄養法です。また、副次的評価項目として、妊娠期間、分娩様式、搬送時の母体状態などです。利用を開始するのは、本研究が承認された日以降です。

### (3) 利用する者の範囲

日本赤十字社医療センター 【産婦人科】(研究責任者 笠井靖代)

### (4) 管理責任を有する者の名称

日本赤十字社医療センター

## 3. 参加を希望されない場合等

本研究への参加を希望されない場合や本研究参加についてのご相談がある場合は、以下へご連絡ください。本研究への参加を希望されない場合でも、不利益を被ることはありません。

## 4. 問い合わせ先

日本赤十字社医療センター

〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22

TEL: 03-3400-1311 FAX: 03-3409-1604

担当: 産婦人科 笠井 靖代